

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	神港園シルビアホーム	定員	100名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 神港園	開設	昭和55年4月11日
所在地	〒651-2311 神戸市西区神出町東1188番地345	TEL	078-965-1407
交通アクセス	電車の場合・・・神鉄粟生線『緑ヶ丘』駅下車、徒歩15～20分 タクシー5分 車の場合・・・国道175号線北へ10km老ノ口交差点東約2.5km 又は県道22号線西盛北信号を西へ1km(眼鏡の三城手前信号)	URL	silvia@shinkouen.or.jp

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業	
・ケアプランセンター ・ホームヘルプセンター ・デイサービス ・ショートステイ ・居宅介護支援センター ・地域包括支援センター ・特別養護老人ホーム (神港園しあわせの家・神港園サニーライフ白川・さん舞子神港園いこいの家) ・ケアハウス ・養護老人ホーム ・神港園診療所 ・シルバーハウジング生活援助員派遣事業 ・シルバーハイツひよどり台 ・県営白川高層住宅	
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)	
●介護・看護職員1名に対する入所者	2.3 名
●介護・看護職員平均勤続年数	6.1 年
●介護・看護職員平均年齢	42 歳
●人材確保と育成の方針	
未経験者であっても、丁寧な業務指導により長年勤められるように育成指導を行っている。 人事考課制度の導入で職員の意識や取組の成果に応じて昇給することが可能で、人事考課の結果に応じて、年間多数の契約職員が正職員として頑張れるような環境を作っている。 毎年、職員に意識調査を行い職員の関心が高い研修内容や現状の希望を聞き希望に沿った環境で業務が行えるように努めている。	
3 施設の方針・理念	
施設方針・・・黄金律『自分がしてほしいと思うことを他人にしてさしあげましょう』 運営理念・・・『くつろぎと安心のある施設』 施設理念・・・『家庭的でその人らしい暮らしを求めて』	
4 施設の特徴	
昭和55年の開設以来積み重ねてきたノウハウを活かし、質の高い介護を提供している。 敷地内に併設されている神港園診療所との連携により充実した医療面のサポートを行い、住み慣れた施設で長く生活できるように援助している。 入居者一人ひとりの状態に合わせた食事形態や季節感あふれる行事食を楽しんで頂いている。	
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ	
ボランティア・・・毎月訪問して頂いている。 研修について・・・入職後の新任研修を初め、神港園診療所のドクターによる研修、外部研修への参加など職員の育成に努めている。 実習生の受け入れについて・・・福祉専門学校・大学などの実習先として受け入れを行っている。	
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)	
地域包括支援センターを窓口、地域との交流を図ると共に、地域の行事参加、施設内行事への案内を行い、地域交流を行っている。	
7 居室形態	
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型 <input type="checkbox"/> 個室ユニット型
●料金	居住費 320円 食費 1500円
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)	
年2回家族会を実施、また、ケアプラン会議への家族参加を促し、家族・本人の意向を確認している。また、行事案内を行い参加を促している。	

■サービス提供体制

入所条件
常に介護が必要で自宅での生活が困難な方で、要介護1～5の介護認定を受けており、より介護の必要性の高い方、入所指針に基づき、入所検討会で入所決定された方。
施設内自由度
身体拘束を廃止し、各階自由な空間での生活に努め、希望者や精神的な状況に応じて、一階フロアや屋外など気分転換が図れるようにしている。
居室の環境
本人・家族の意向を聞きながら、また担当職員が本人の状態に合わせて環境整備し、状態に合わせて居室の検討を各部署が参加し入所検討委員会時に検討を行っている。
外出などの自由
本人・家族の意向を聞きながら、担当職員が事前に調整を行い、外出している。また、希望により家族に協力を得ている。
身体拘束・虐待防止対策
毎月各ユニットにて会議、委員会を開催し、協議及び対応をしている。また、職員全員が参加できるよう毎月2回高齢者虐待防止研修の実施をし、協議する場を設けている。
食事
入居者ひとり一人に合わせた食事形態や季節感あふれる行事食・お楽しみメニューとして選択食など食への楽しみを持っていただける取組みを行っている。
入浴
入居者の状態に合わせて週2回入浴を行っている。 体調不良などで入浴できない場合には清拭で対応する。
排泄ケア
入居者の状態に合わせて、トイレ誘導・オムツ交換を行っている。 定時のオムツ交換だけではなく、入居者の状況に合わせて時間や方法をケアプランで検討し実施している。
医療体制
敷地内に併設されている神港園診療所と連携及び協力病院との連携を行い医療面でのサポートを行っている。
ターミナルケアの実施
<input type="checkbox"/> 積極的に行う <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない 入所時、ケアプラン会議時に意向の確認、状態に合わせて主治医からの面談を行い、意向をふまえてケアプランを作成し、希望に沿ったケアを実施している。
認知症ケア
入居者の状況に合わせた居室選びをすることで安心した暮らしを提供すると共にケアプランの中で周辺症状への対応についても検証している。定期的に研修実施を行い、全職員が認知症に対する理解を持ってケアに望んでいる。
アクティビティ
レクリエーション・クラブ活動・音楽療法・施設内行事や地域の行事に参加、ボランティアの訪問などにより、入居者が喜びや楽しみを見つけ出し、生き生きとした生活が送れ、心身を活性化できるようケアを行っている。

特別養護老人ホーム 神港園シルビアホーム

総合評価

- ◎ 神戸市西区の外れ、雄岡山の麓に位置し自然環境に恵まれた施設である。昭和 55 年開設の為、建物の老朽化は歪めないが、内部は 2 階 3 階に吹き抜けが有り開放感と採光を勘案した施設である。
- ◎ 従前の役職員の努力により施設内で数多くのイベントが有り、又外部へのイベント参画等地域交流も活発。
- ◎ 苦情解決規定を作成し第三者委員を設置し公平な立場から意見を提言するシステムの構築が出来ている。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 複数人部屋を準個室に改修することによりプライバシー空間を維持している。
- ◎ 高卒者の採用や専門学校実習生の受入等介護職員の育成に尽力している。
- ◎ 診療所仕様の医務室が整備され、必要時には医師が往診する等手厚い医療体制が整っている。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 昭和 55 年開設の施設の為建物の老朽化対策が不可欠。屋内はメンテナンス等により、それなりに修理・修繕されているが、事業計画に今後の課題としては挙げられている通り外壁塗装の修復が望まれる。
- ◎ 介護職員の人材不足並びに身体的・精神的負担が年々増加しているのが現状である。職員の定着化等からも外部カウンセラー若しくはスーパーバイザー等の職員支援の専門家を確保されては。
- ◎ 家族アンケート集計結果に於いてご本人の暮らしぶりや健康状態の変化について全くないとの回答が若干名見られるので報告が家族に伝達されているかどうか何らかの検証が必要では。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 神港園シルビアホーム

記入者 施設長

当施設の見解

施設の老朽化については、ご指摘通り施設の大きな課題と考えています。

第三者評価での指摘事項を踏まえ、施設内美化(日常の掃除)と環境整備の両面から取り組むよう、「美化環境委員会」と施設メンテナンスの両面から対応を強化しています。

介護人材に関しては、人員配置基準は十分満たしていますが、運営理念である「くつろぎとやすらぎのある施設」を目指すうえのゆとりを含めた職員配置を行います。介護職員の身体的負担を考え、「ノーリフト介護」が進めて行けるように職員研修を重ねています。精神面においても心理カウンセラーによる研修を今年度も法人全体で計画しています。

施設での生活についても、毎月8ページカラーの広報誌「シルビア通信」をご家族に送付し、施設での行事・生活等の情報提供に努めています。個別の暮らしについては可能な限りケアプラン会議に同席頂き、ご相談・ご報告をさせて頂いており、今後も継続していきます。